

# 奈良県観光客動態調査報告書

---

令和6年1月～令和6年12月

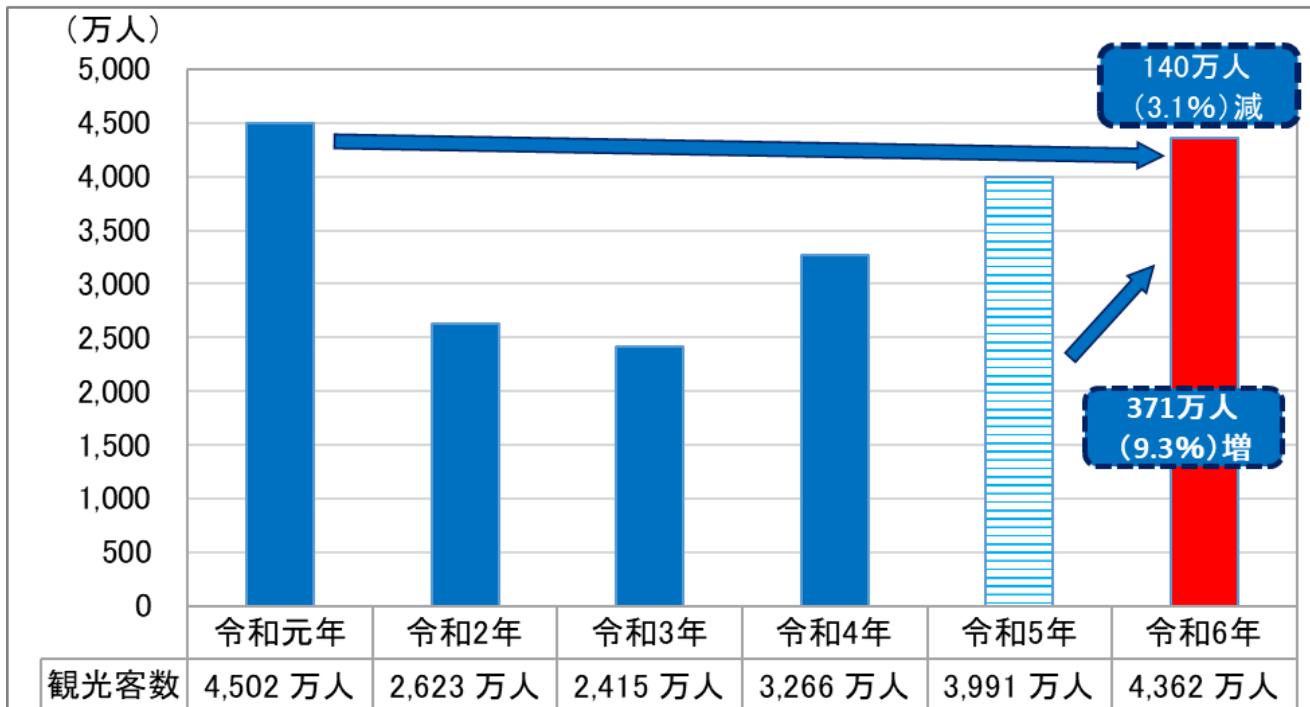
奈良県観光局観光戦略課

## 1. 奈良県への観光客数(延べ人数)

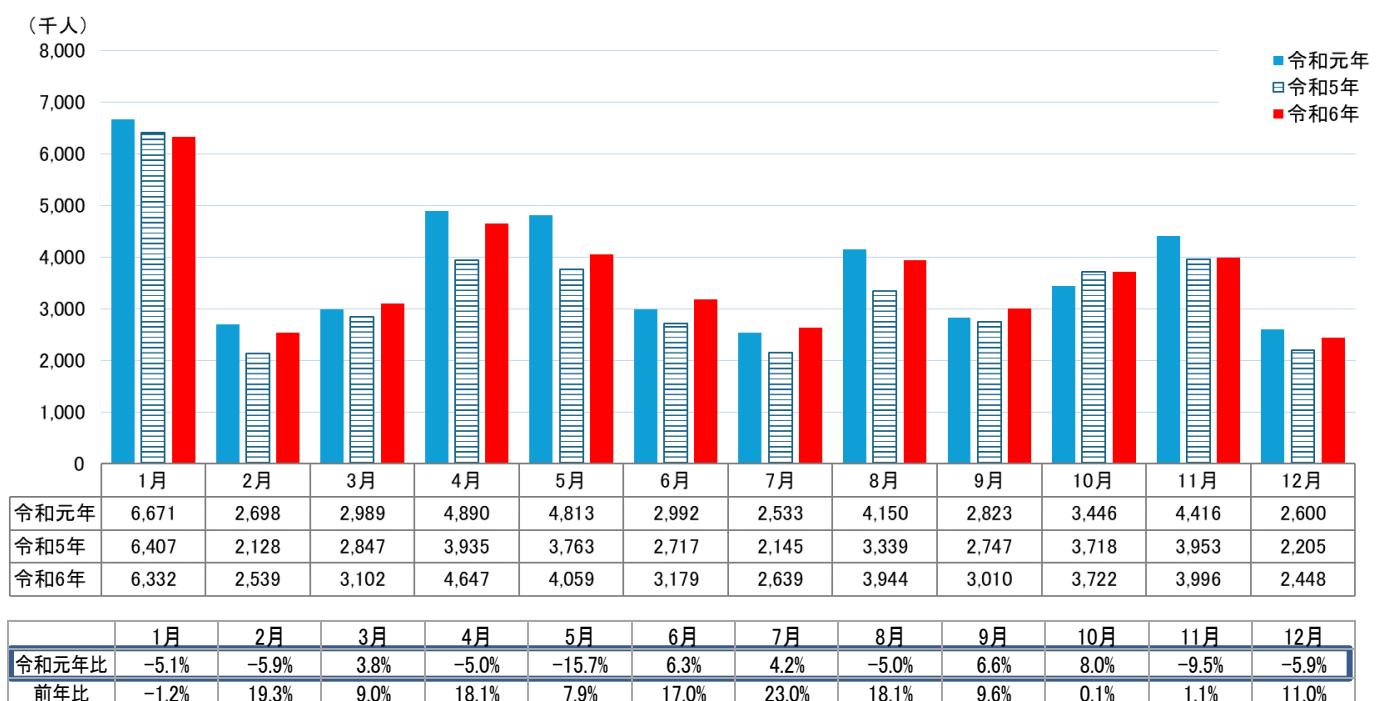
令和6年の奈良県観光客数は**4,362万人**で、前年比**371万人（9.3%）の増加**となりました。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する直前の令和元年と比較すると、**140万（3.1%）の減少**となりました。

令和6年結果を月別に見ると、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類されたことや、円安の影響による訪日外国人の増加から、前年に比べて1月を除き、すべての月で観光客は増加しました。特に、4月～6月には、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類されて初めてのお花見や紫陽花などの季節の花巡りにより客足が増加しました。7月以降には花火大会等の大型イベントも制限なく実施されたことから、前年に比べ観光客数が増加しました。

延べ観光客数推移【令和元年～令和6年】

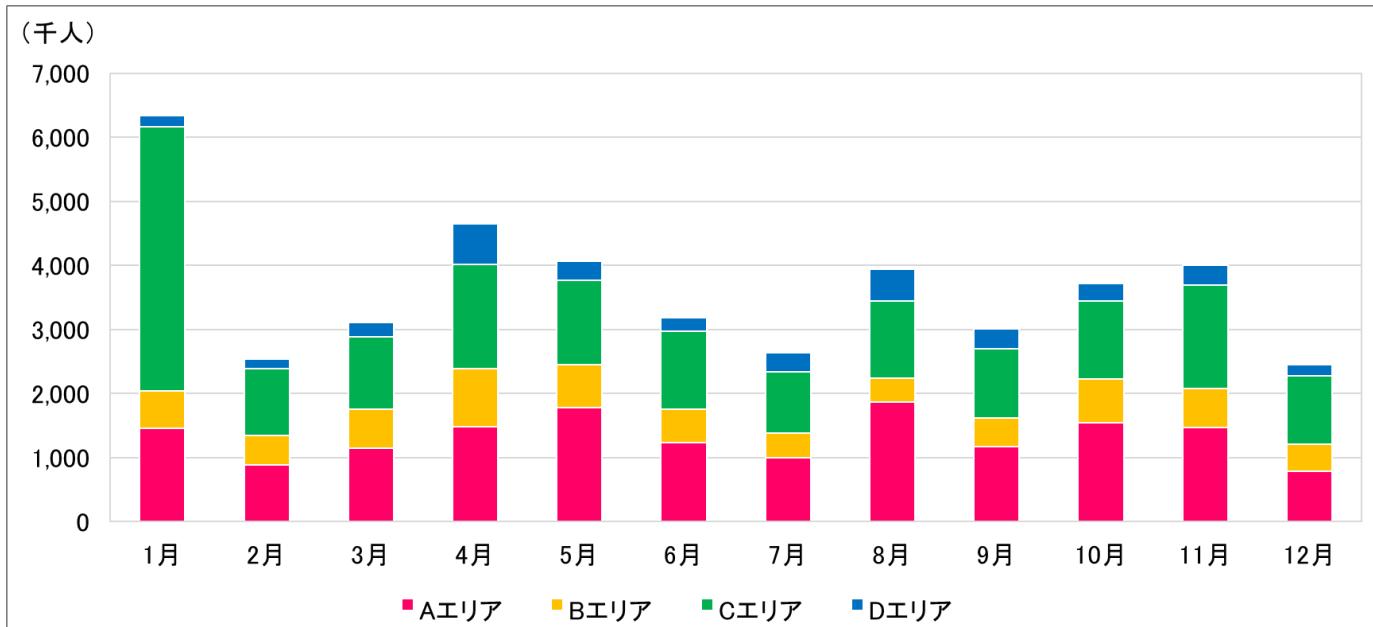


月別観光客数比較【令和元年、令和5年、令和6年】



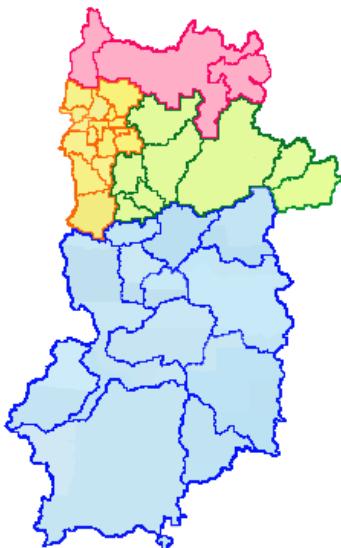
## 2. エリア別観光客数

エリア別・月別観光客数



	(単位:千人)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A エリア	1,454	884	1,146	1,475	1,775	1,238	1,000	1,872	1,168	1,548	1,466	788	15,815
令和元年比	-19.0%	-18.0%	12.5%	6.2%	-8.6%	10.3%	25.6%	-8.2%	19.5%	12.8%	-8.8%	-21.1%	-2.0%
前年比	-8.2%	16.6%	37.8%	20.9%	12.3%	19.8%	79.9%	11.2%	12.4%	1.8%	-1.7%	6.8%	12.7%
B エリア	585	460	604	908	674	511	383	364	447	683	609	421	6,647
令和元年比	14.2%	37.5%	-1.2%	-25.2%	2.4%	3.1%	10.9%	7.1%	12.4%	30.6%	0.7%	19.5%	4.1%
前年比	13.3%	27.0%	-27.3%	16.4%	1.2%	-0.6%	-2.6%	1.6%	5.1%	-6.5%	-3.7%	15.2%	1.1%
C エリア	4,120	1,043	1,136	1,631	1,321	1,220	954	1,207	1,080	1,216	1,614	1,063	17,604
令和元年比	-2.0%	-7.9%	0.0%	-1.6%	-27.3%	7.3%	-12.0%	-6.0%	-6.0%	-6.2%	-10.8%	-0.4%	-6.2%
前年比	-1.2%	17.5%	15.2%	14.2%	6.2%	21.6%	3.7%	25.5%	16.4%	0.8%	5.2%	9.9%	8.4%
D エリア	173	153	216	633	289	211	302	502	315	276	308	175	3,552
令和元年比	7.7%	-0.6%	-2.9%	0.3%	-27.2%	-11.3%	-1.8%	2.7%	5.1%	8.2%	-22.0%	-3.8%	-4.8%
前年比	26.0%	26.4%	8.7%	25.1%	6.2%	25.4%	9.6%	49.8%	-11.1%	5.2%	3.9%	30.9%	16.1%
計	6,332	2,539	3,102	4,647	4,059	3,179	2,639	3,944	3,010	3,722	3,996	2,448	43,618
令和元年比	-5.1%	-5.9%	3.8%	-5.0%	-15.7%	6.3%	4.2%	-5.0%	6.6%	8.0%	-9.5%	-5.9%	-3.1%
前年比	-1.2%	19.3%	9.0%	18.1%	7.9%	17.0%	23.0%	18.1%	9.6%	0.1%	3.9%	11.0%	9.3%

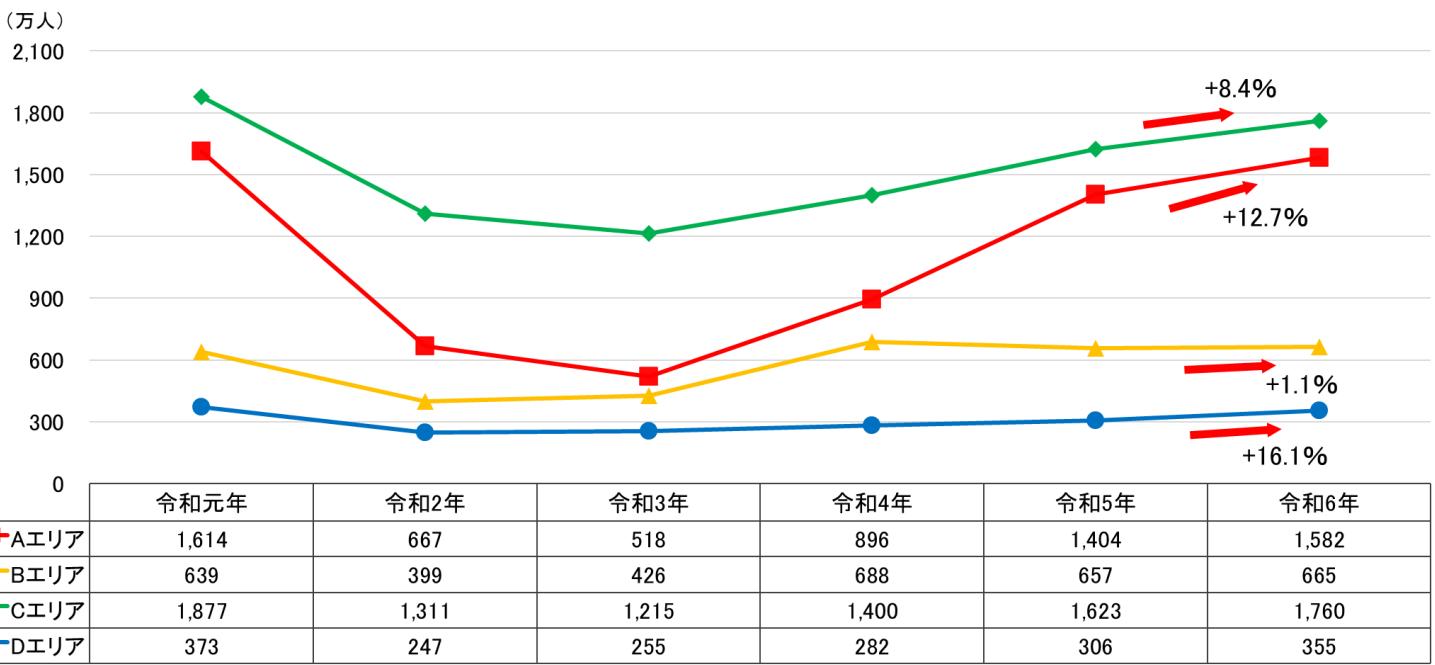
※ 千人未満を四捨五入しているため、内訳と計は一致しません。



A (県北部)	奈良市、生駒市、山添村
B (県西部)	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C (県東部)	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村
D (県南部)	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

## 2. エリア別観光客数

エリア別観光客数の推移【令和元年～令和6年】



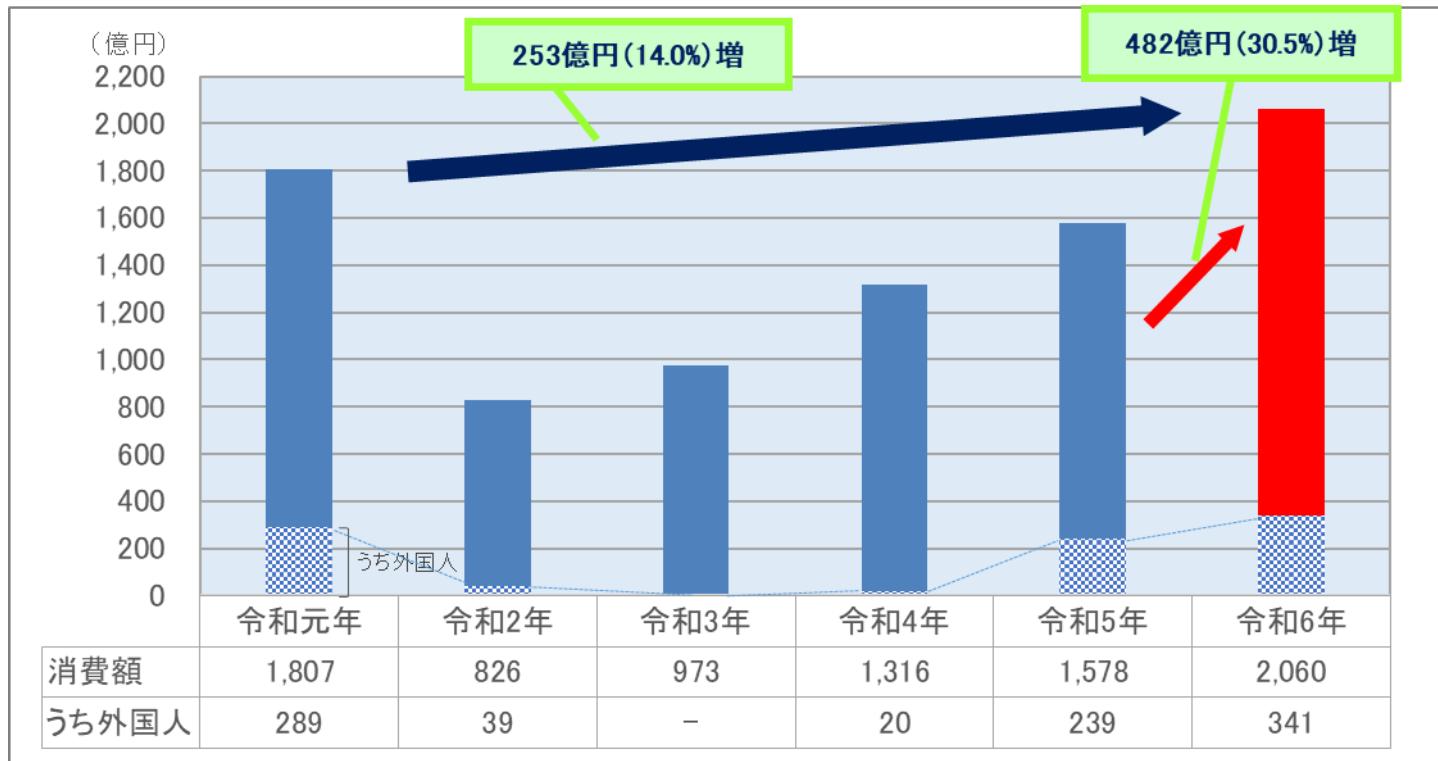
A	<b>令和元年比： 32万人減 (▲2.0%)</b>	新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなったことに加え、「若草山焼き」「東大寺修二会」等の大型イベントの通常実施が続いたことで、観光客数が増加した観光施設もある一方、コロナ禍以前まで賑わいが回復しなかった観光施設もあったことから、令和元年に比べ減少となった。
	<b>前年比： 178万人増 (+12.7%)</b>	インバウンド観光客の増加に加えて、NHK大河ドラマ『光る君へ』で、「興福寺」「春日大社」等がクローズアップされたことや、コロナ禍で中止されていた節分の豆まきが「元興寺」等の寺社で4年ぶりに開催されたことなどから、前年を上回る結果となった。
B	<b>令和元年比： 26万人増 (+4.1%)</b>	コロナ禍以前よりも「唐古・鍵遺跡史跡公園」や「馬見丘陵公園」等への観光客が増加したことや、辰年であったことから「龍田大社」等への客足が増加したことから、令和元年に上回る結果となった。
	<b>前年比： 8万人増 (+1.1%)</b>	「道の駅 レスティ唐古・鍵」「道の駅かつらぎ」の道の駅等にも客足が増加したことに加え、その周辺を周遊する観光に人気が集まったことから前年を上回る結果となった。
C	<b>令和元年比： 117万人減 (▲6.2%)</b>	「山の辺の道」「天理市トレインセンター」「高取城跡」等、コロナ禍以前よりも観光客数が大幅に増加した観光施設もある一方、コロナ禍以前まで賑わいが回復しなかった観光施設もあったことから、令和元年に比べ減少となった。
	<b>前年比： 137万人増 (+8.4%)</b>	「石上神宮」「大神神社」での特別参拝や展示会の開催、「長谷寺」での紫陽花や紅葉の鑑賞、奈良健康ランド屋内レジャーポールに人気が集まったことから、昨年度より客足が大幅に増加し、前年を上回る結果となった。
D	<b>令和元年比： 18万人減 (▲4.8%)</b>	「吉野路 黒滝」「道の駅 十津川郷」や、「中莊温泉」「洞川温泉センター」の温泉施設等、コロナ禍以前に比べて観光客が増加した観光施設もある一方で、コロナ禍以前まで賑わいが回復しなかった観光施設もあったことから、令和元年に比べ減少となった。
	<b>前年比： 49万人増 (+16.1%)</b>	近年SNSで話題となっている「面不動鍾乳洞」「瀬戸内」等の観光施設に人気が集まることや、7月に「KITO FOREST MARKET SHIMOICHI」が開業したことから観光客数は前年を上回る結果となった。

### 3. 宿泊・日帰り別観光消費額

令和6年の観光消費額は**2,060億円**と過去最高になりました。  
前年と比較すると**482億円(30.5%)**の増加、コロナ禍前の令和元年と比較すると**253億円(14.0%)**の増加となりました。

観光消費額が増加した主な要因としては、1人あたり観光消費額が前年比で日帰り客は+ 557円(+14.5%)、宿泊客は+6,589円(+24.7%)と、それぞれ増加したことが影響しました。

観光消費額の推移【令和元年～令和6年】



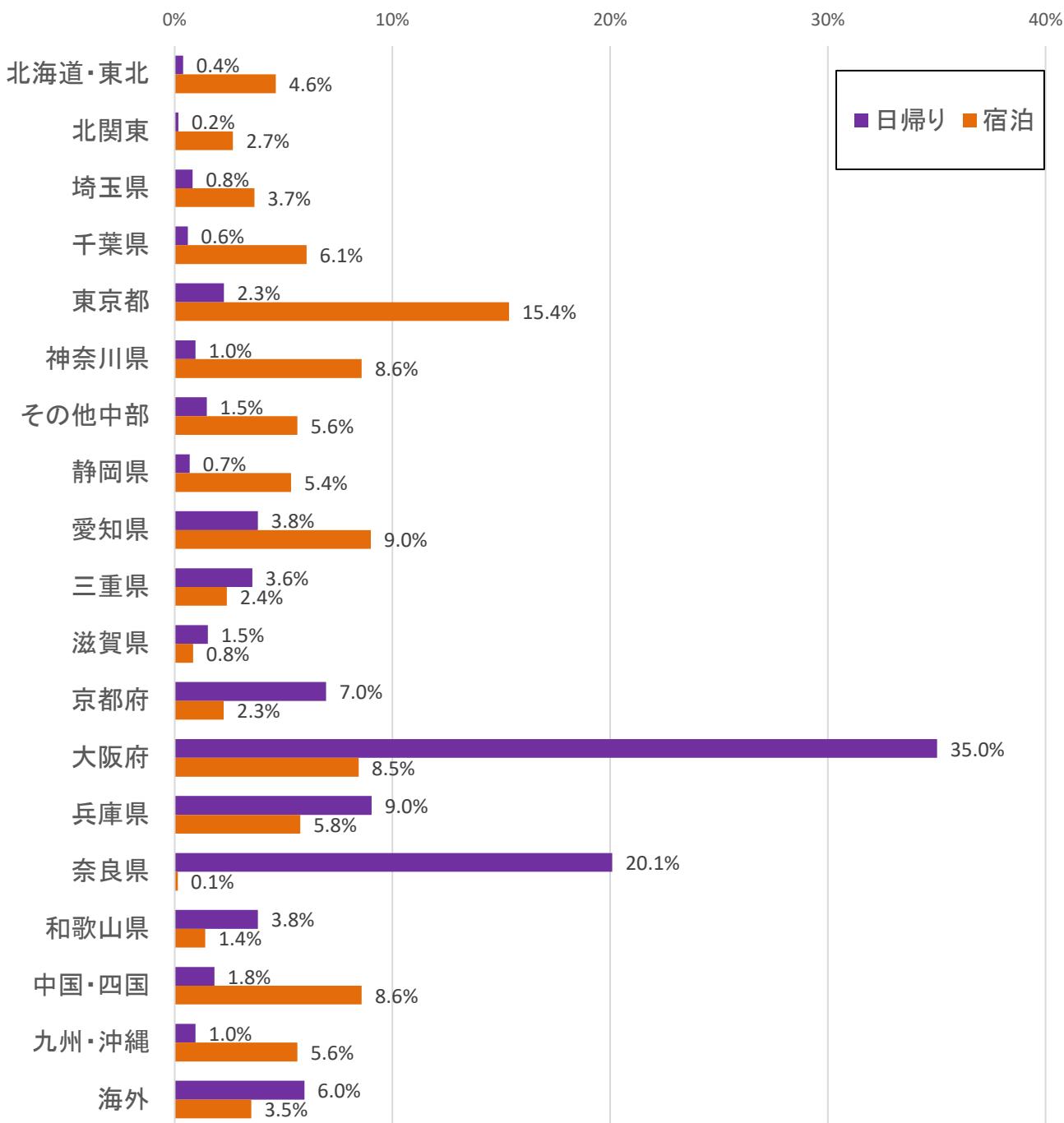
	令和元年	令和5年	令和6年	令和元年比較		前年比較	
観光消費額	(単位:百万円)						
宿泊	68,299	67,900	91,362	23,062	33.8%	23,461	34.6%
うち訪日外国人	15,791	12,882	20,065	4,274	27.1%	7,183	55.8%
日帰り	112,392	89,912	114,643	2,251	2.0%	24,731	27.5%
うち訪日外国人	13,096	11,025	13,993	897	6.8%	2,968	26.9%
合計	180,692	157,812	206,005	25,314	14.0%	48,193	30.5%
うち訪日外国人	28,886	23,907	34,058	5,171	17.9%	10,151	42.5%
1人あたり観光消費額	(単位:円/人回)						
宿泊	24,807	26,695	33,284	8,477	34.2%	6,589	24.7%
うち訪日外国人	27,079	48,231	56,279	29,200	107.8%	8,048	16.7%
日帰り	4,569	3,848	4,405	-164	-3.6%	557	14.5%
うち訪日外国人	5,914	4,543	4,919	-996	-16.8%	376	8.3%
合計(平均)	6,606	6,091	7,161	555	8.4%	1,070	17.6%
うち訪日外国人	10,326	8,874	10,639	313	3.0%	1,765	19.9%
観光入込客数(実人数推計)	(単位:千人回)						
宿泊	2,753	2,544	2,745	-8	-0.3%	201	7.9%
うち訪日外国人	583	267	357	-227	-38.9%	89	33.5%
日帰り	24,599	23,366	26,024	1,425	5.8%	2,657	11.4%
うち訪日外国人	2,214	2,427	2,845	631	28.5%	418	17.2%
合計	27,352	25,910	28,769	1,416	5.2%	2,859	11.0%
うち訪日外国人	2,797	2,694	3,201	404	14.4%	507	18.8%

※観光入込客数(実人数推計): 延べ入込客数を基に、アンケート調査により得た観光客1人あたりの平均訪問地点数等を考慮し推計しています。

## 4. 来訪者の発地

### ■ 来訪者の発地割合(アンケートの回答者数:3,009人)

- ・日帰り観光客は関西圏(76.4%)からの来訪者が多く、最も多いのが大阪府(35.0%)、次いで奈良県内(20.1%)、兵庫県(9.0%)となっている。
- ・宿泊観光客は関東圏(36.5%)や関西圏(18.9%)からの来訪者が多く、最も多いのが東京都(15.4%)、次いで愛知県(9.0%)となっている。



※ 奈良県内での宿泊を伴わない観光客を日帰り観光客として集計しています。

※ 回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

地域ブロック	都道府県
北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
北関東	茨城県 栃木県 群馬県
その他中部	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

## 調査の概要(参考)

観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(以下、「共通基準」という。)に準拠した調査を四半期ごとに実施し推計を行った。

なお、報告書内の数値は、端数を四捨五入して表記している。

### 観光地点等入込客数(延べ人数)調査

市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計。

※一部施設について、R4.4月～6月、R4.10月～12月、R5.4月～R6.12月は推計値を用いています。

【集計対象数】 … 256

#### 【調査対象】

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とした。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

### アンケート調査

県内の10地点において、平均訪問地点数、観光消費額単価等について調査を行った。

【アンケート回答者数】 … 3,009人

#### 【実施場所】

- |            |            |
|------------|------------|
| ・東大寺       | ・信貴山朝護孫子寺  |
| ・唐招提寺      | ・法隆寺       |
| ・ならまち格子の家* | ・石舞台古墳     |
| ・大神神社      | ・金峯山寺      |
| ・長谷寺       | ・道の駅「十津川郷」 |

\* R6.秋は、奈良町にぎわいの家で実施

#### 【実施時期】

- ・ 冬 : 令和6年1月20日(土)、27日(土)、28日(日)、2月3日(土)、4日(日)
- ・ 春 : 令和6年6月22日(土)、29日(土)、30日(日)
- ・ 夏 : 令和6年8月24日(土)、25日(日)、9月7日(土)、8日(日)
- ・ 秋 : 令和6年11月16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)